

2023年上半期 第2回

薬局経営者・管理者のための

薬局経営研究会 in 高松

テーマ：2025年に向けた実践的な戦略を考えてみる～今日から始めよう～

薬局経営研究会とは

薬局を取り巻く経営環境は大きく変化しています。調剤報酬への対応はもちろん、規制改革等の環境の変化にも対応することが求められます。薬局経営研究会では最新のトレンドをお伝えすると共に、参加者からの質問を通じて、課題の共有、解決の模索を行います。現在、大阪・広島・四国・福岡・札幌と開催している企画です。オンラインセミナーが増える中、リアルだからこそ発信できるコト、共有できるコトも多くあります。

【当日の流れ】 19:00～最新情報の提供 20:00～参加者からの質疑、ディスカッション

詳細

- 日時：2023年6月21日(水) 19:00～21:00
- 会場：香川県社会福祉総合センター6F 第一研修室
(高松市番町1丁目10番35号)
- 費用：11,000円(税込)/回
- 定員：15名

※薬局経営者、管理者、管理薬剤師と幅広い方にご参加を頂いております。
ご参加にあたり、薬剤師資格の有無は問いません。



モデレーター

株式会社Kaeマネジメント

取締役会長SAN 駒形 和哉 (薬剤師・中小企業診断士・宅地建物取引士)

東北薬科大学卒業後、医薬品卸入社。営業担当、コンサルティング担当を経て、平成9年関連会社の設立に関わる。社長として同社を調剤薬局、在宅介護用品販売・レンタルの会社として成長させた。平成19年同社を退社。医療・福祉・薬局関連分野を中心とした経営コンサルタント会社である株式会社Kaeマネジメントを設立。多彩な経験と豊富な知識から語られる講義内容は、実践的でわかりやすいと評判。全国の薬剤師の兄貴として慕われている。



【お問合せ】株式会社Kaeマネジメント

担当：山口

東京都台東区浅草橋3-1-1TJビル3F

☎03-5829-6659

✉seminar[@]kae-management.com

薬局を取り巻く環境の変化に気付いていますか

2024年度調剤報酬改定に向けた議論が始まっています。求められる薬局ビジョンの達成に向けた最後の改定になります。「対物から対人へ」そう言われた2022年度改定ですが、フタを開けてみると大きな変更点は見受けられず、厳しい世論の指摘に対して、逆転の一手になったとは言えない状況です。国が求める規制改革はしたたかに進み、その先にあるのは6万軒ある薬局の集約です。骨太の方針に示された「新しい資本主義」が何を意味するのか考えなくてはなりません。

対人業務を評価した報酬の代表が地域支援体制加算です。すでに「3項目から5項目」への引き上げを予想している経営者も多いのではないのでしょうか。次回報酬改定に向けて1年間どのように過ごすのかで2024年4月の姿が大きく変わります。何を準備するのか、何をしていないといけないのかを考えます。

上半期のスケジュール

6月21日 ・ 8月30日

他会場参加者の声

オンラインは苦手。リアルでクローズだからこそ聞きたいことが聞けるので参加をしている。
広島県5店舗 経営者

情報が小規模から大手企業まで網羅されているので重要な情報源の一つになっています。
北海道50店舗 管理職

参加者との情報交換、その後の見学を通して、各種実績作りを実施。念願の地域支援体制加算を算定できました。
大阪1店舗 経営者

情報量が圧倒的。フォローアップもしてくれて、目指すべきことをの最短距離を教えてくれる。
福岡県15店舗 経営者

ホームページからお申込み

当社ホームページにセミナーページを掲載しております。携帯電話・タブレットをご利用の方は右記のQRコードを読み込んで頂き、フォームに必要事項を記載しお申込みくださいませ。



FAXでのお申込み(高松)

FAX : 03-5829-6679

氏名	
貴社名	
ご住所	〒
電話番号	
E-mail	
参加日程	<input type="checkbox"/> 6月21日 ※お申込みは毎月ごとのお申込みになります

※お申し込み後、担当者よりご請求書が送付されます。